

第9回

文章を読み解く問題(2)

例題

次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

日本とアメリカの貿易をめぐる^{まさつ}摩擦は、1950年代、日本からの [A] の輸出をめぐって始まりまし
た。1960年代には日本で [B] 業が急速に^{はってん}発展し、アメリカへの輸出が増えました。アメリカは、
国内の産業を守るため、保護貿易を行って^{たいこう}対抗し、日本は、輸出の自主規制を行うことになりまし
た。1970年代には、日本製の [C] がよく売れるようになり、アメリカで [C] の不買運動が起
こりました。これに対して日本は、輸出の自主規制を行うとともに^{かくだい}現地生産を拡大して、問題の解
決に取り組みました。1980年代に入ると、高度な技術を必要とする [D] などが多く輸出され、新
たな^{まさつ}摩擦が発生しました。

近年、^{かんたいへいようしよこく}環太平洋諸国で貿易の自由化を進める^{ティービーピー}TPPという^{わくぐ}枠組みが^{けんとう}検討されてきました。^{ティービーピー}TPP
とは、^{てつぱい}農業分野もふくめ、^{えんかっ}広い対象分野で [E] の^{かくだい}撤廃をめざした協定です。これにより輸入品の
価格も下がり、輸出入の手続きも^{えんかっ}円滑になって貿易が^{かくだい}拡大するとして、各国が^{けんとう}参加を^{けんとう}検討していま
す。

問1 [A] ~ [D] にあてはまることばの組み合わせとして正しいものを次から選んで、記号で答え
なさい。

- ア [A] = 自動車・ [B] = せんい製品・ [C] = 半導体・ [D] = 鉄鋼^{てつこう}
- イ [A] = 半導体・ [B] = せんい製品・ [C] = 自動車・ [D] = 鉄鋼^{てつこう}
- ウ [A] = 自動車・ [B] = せんい製品・ [C] = 鉄鋼・ [D] = 自動車
- エ [A] = 半導体・ [B] = 鉄鋼^{てつこう}・ [C] = 自動車・ [D] = せんい製品
- オ [A] = せんい製品・ [B] = 鉄鋼^{てつこう}・ [C] = 自動車・ [D] = 半導体
- カ [A] = せんい製品・ [B] = 自動車・ [C] = 半導体・ [D] = 鉄鋼^{てつこう}

問2 [E] にあてはまることばを漢字2字で答えなさい。

解き方・考え方

入試問題の文章は、重要なテーマを^{かんけつ}簡潔にまとめています。問題を解くときだけでなく、答え合わせを
した後にも、もう一度、本文を読んでみましょう。設問で直接たずねられていないことでも、本文から学
べることがたくさんあります。

問1 [A]～[D]にあてはまることばの組み合わせとして正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

空らんを埋める問いは、空らんの前後の文からヒントを探ります。

[A] ……1950年代、日本からの[A]の輸出をめぐって始まりました。

↳ここでしっかり時期を特定します。

[B] ……1960年代には日本で[B]業が急速に発展し、……

↳ここでも時期や文の内容をしっかり意識します。

[B]には「業」につながることばがあてはまります。これは大きな手がかりです。このことに気づけば、[B]のことばを特定することができます。

このことによって、答えるべき選択肢を、「工」か「オ」のどちらかにしぼることができるのです。

エ [A] = 半導体・[B] = 鉄鋼・[C] = 自動車・[D] = せんい製品

オ [A] = せんい製品・[B] = 鉄鋼・[C] = 自動車・[D] = 半導体

「せんい製品」と「半導体」の生産のどちらが先に日本で発達したかを考えれば、正解を導くことができます。

問2 [E]にあてはまることばを漢字2字で答えなさい。

もう一度、空らんの前後を読んでみましょう。

TPPとは、農業分野もふくめ、広い対象分野で[E]の撤廃をめざした協定です。これにより輸入品の価格も下がり、輸出入の手続きも円滑になって貿易が拡大するとして、……

ヒントは漢字2字。
「TPPで撤廃されるもの」、そして「輸入品の価格が下がることにつながるもの」です。「撤廃」は、「廃止」に近い意味をもつことばです。

TPPについて考えよう ……少しくわしく

TPPとは、環太平洋パートナーシップ協定の略称です。これは、アメリカやオーストラリアなどの太平洋を囲む国々による、貿易についての取り決めです。自由な貿易をすすめるだけでなく、国どうしの人やお金の行き来も自由にするをめぐっています。

TPPについてのおもな意見をまとめてみます。

<p>〈賛成意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の製品を輸出しやすくなる。 ・消費者は、外国の安い製品を買うことができる。 <p style="text-align: right;">など</p>	}	<p>〈反対意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国から安い農産物や工業製品が大量に入ってくると、国内の産業がたちゆかなくなる。 <p style="text-align: right;">など</p>
--	---	--

練習問題



1 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしたちの住む日本は 大陸の東にあり、①多くの島々からなっています。その領土は約38万km²で、日本の端から端までは3000kmほどあります。海岸から 海里以内は②排他的経済水域と定められています。

日本の国土は環太平洋造山帯に属するため、③地震や火山が多く、7～8割が山地で占められています。大きな平野はあまり見られず、ほとんどが④川によって運ばれてきた土砂が積もってできた沖積平野です。本州の中央部には大地溝帯があり、これにほぼ沿う形で、3000mをこえるけわしい山々が連なっています。これら⑤3列の山脈をまとめて、一般に とよんでいます。

問1 ～ にあてはまることばや数をそれぞれ答えなさい。

問2 下線①について、次の1～3が説明している島の名をそれぞれ答えなさい。

- 1 日本の最北端にあるこの島は、現在ロシアに占領されています。
- 2 日本海にあるこの島は、日本と韓国の領土問題の種となっています。
- 3 この島は日本の最西端にあり、晴れた日には台湾が見えます。

問3 下線②について、各国がこの水域を設定したことにより、日本から遠い海で、大きな船で数か月から一年ほどかけて行う漁業が打撃を受けました。この漁業を何といいますか。

問4 下線③について、次の問いに答えなさい。

- 1 1995年1月17日に発生した巨大地震による被害を何といいますか。
- 2 火山の噴火によって被害が生じることがありますが、一方で火山による恩恵もあります。わたしたちが火山から受ける恩恵の例を1つ答えなさい。
- 3 火山の一つである富士山が、2013年に世界文化遺産に登録されました。富士山はどの県とどの県にまたがっていますか。県の名を2つ答えなさい。
- 4 富士山を、その形によって分類するとどれにあたりますか。次から選んで、記号で答えなさい。
ア フォッサマグナ イ デルタ ウ コニーデ エ カルデラ

問5 下線④について、河川が山地から平地に流れ出るところに形成され、等高線がほぼ同じ間隔で広がっている地形を何といいますか。

問6 下線⑤について、これらの3列の山脈のうち、最も南にある山脈の名を答えなさい。

2 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

日本は世界有数の森林国で、森林面積の割合は国土面積の約（あ）です。また、①日本列島は木の生育に適していて、森林の種類もとても豊富なため、家具をはじめとして、多くの木がくらしの中で使われてきました。

②すぎ・ひのき・まつなどは、おもに建築用に利用され、まっすぐにのびる針葉樹林です。また、なら・③ぶな・しい・くぬぎなどは、地中に広く根をはる（い）樹です。特に（う）は木材の産出量が日本一で、国がもっている国有林が多いのも特徴です。中には、広大な森林が④世界自然遺産の一部として登録されている例も見られます。

また、⑤森林は人間の生活や活動にも役立っていることが多く、保安林として国が保護しているものもあります。森林面積は広いのですが、残念ながら⑥現在、日本の林業はさかんではありません。けわしく急な斜面での危険な作業が多いことなどが、その背景にあります。

問1 （あ）にあてはまるものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 4分の1 イ 3分の1 ウ 3分の2 エ 5分の2

問2 （い）にあてはまることばを漢字2字で答えなさい。

問3 （う）にあてはまる都道府県の名を漢字で答えなさい。

問4 下線①について、次の文は、下線①の理由を日本の気候と国土の特徴から説明したものです。次の文の ・ にあてはまる内容をそれぞれ簡単に答えなさい。

日本の気候は が多く、国土は ため。

問5 下線②について、天然の三大美林の一つであるすぎが有名な県の名を漢字で答えなさい。

問6 下線③について、世界最大級のぶなの原生林が広がっている世界自然遺産の名を漢字で答えなさい。

問7 下線④について、次の問いに答えなさい。

1 縄すぎで知られ、世界自然遺産になっている島を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 利尻島 イ 淡路島 ウ 八丈島 エ 屋久島

2 1の島は、どの都道府県に属していますか。都道府県の名を漢字で答えなさい。

問8 下線⑤について述べた文として正しくないものを次からすべて選んで、記号で答えなさい。

- ア 二酸化炭素を供給し、きれいな空気をつくる。
- イ 河川に養分をあたえ、魚介類が豊富になる。
- ウ 雨水を地中にたくわえ、一気に川に流していく。
- エ 風・砂・雪などから人間の生活を守る。
- オ 人々のレクリエーションの場となっている。

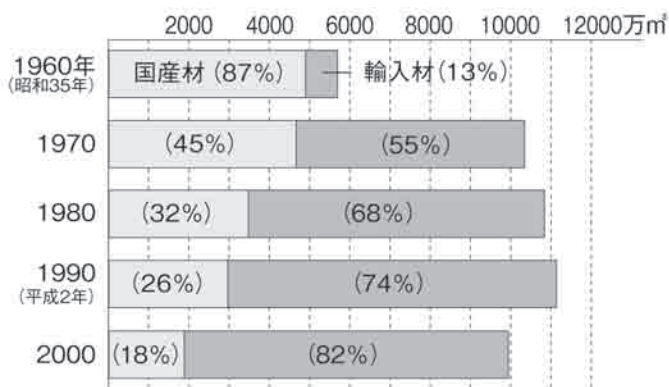
問9 下線⑥の理由について、右のグラフ

I・IIを参考にして簡単に説明しなさい。ただし、「高齢化」「価格」という2つのことばを必ず用いて、前のページの文章に書かれている内容以外の理由を答えなさい。

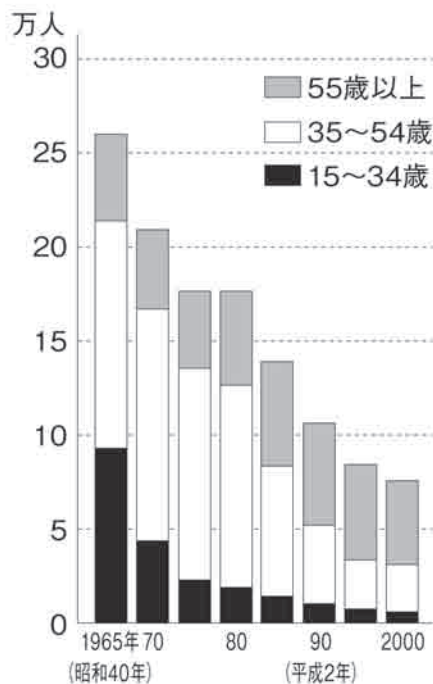
問10 昔から「木の国」とよばれ、ほかの地域とくらべても林業が発達してきたところを下の地図から選んで、記号で答えなさい。



グラフI 国産材と輸入材の割合



グラフII 日本の林業で働く人の数の移り変わり



問11 次の文やグラフを見て、下の問いに答えなさい。

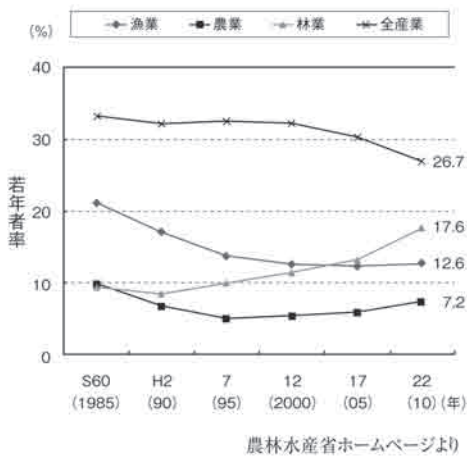
次のグラフⅢ・Ⅳからは、林業の新たな傾向がわかります。その傾向を文章で表すと、

35歳未満の若い人が林業の仕事に就く割合は、すべての農林水産業の仕事に就く人の割合にく

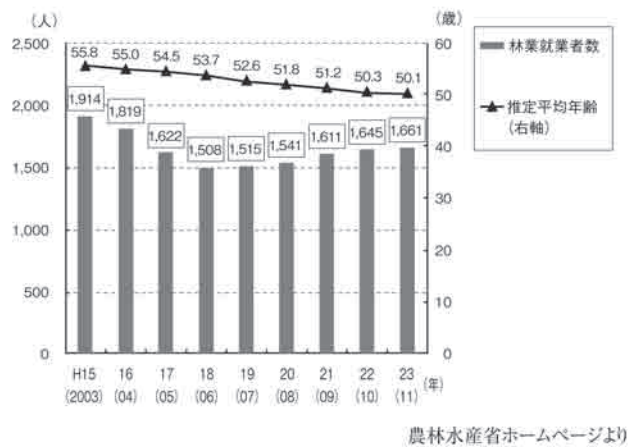
らべると、上昇傾向となっている。また、一部の地域では、林業の仕事に就く人が増加するとともに、その中に若者もふくまれることから、平均年齢が低下している。

といえるでしょう。その地域の代表例である（え）県では、グラフⅣを見ると平成19年以降、それまでの減少傾向から増加傾向に転じていることがわかります。また、（え）県は、全国一の森林面積率をほこっており、県東部の馬路村魚梁瀬地区には、すぎの天然林が広がっています。（え）県の豊かな森林からは、最後の清流といわれる四万十川などが流れ出ています。2013年には、この流域の四万十市で日本の気温の最高記録である41.0℃を記録しました。（え）県では、新しく仕事に就きたい人への宣伝活動や、「（お）の雇用」事業の実施などで、林業の仕事をする若者が増えています。

グラフⅢ 農林水産業における若年者率の推移



グラフⅣ （え）県における林業就業者数と平均年齢の推移



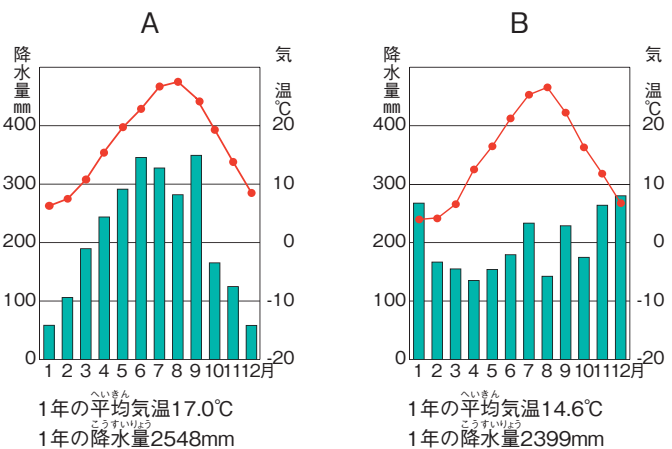
1 右のグラフA・Bのどちらかは、上の文の（え）県の県庁所在地の気温と降水量を表しています。これらのグラフについて述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 夏が暑く、冬も黒潮の影響を受けて温暖であることから、Aは高知のグラフである。

イ 全国でも有数の雨の多い地域で温暖でもあることから、Aは和歌山のグラフである。

ウ 季節風の影響で冬に雪が多く、黒潮の影響もあって一年を通して温暖であることから、Bは高知のグラフである。

エ 一年を通して雨が多いが、特に冬の降水量が多いことから、Bは和歌山のグラフである。



2 前のページの文の「(お)の雇用」^{こよう}とは、林業の仕事に新たに就きたいと望んでいる人を支援する制度の総称です。^{えん}(お)には、環境や森林などをイメージする色があてはまります。脱原発^{だつげんぱつ}などの市民運動をすすめる団体の名としても世界的に使われている(お)にあてはまる色の名を漢字1字で答えなさい。

3 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

大陸から北九州に稲作^{いなさく}が伝わったのは、時代の終わりごろでした。次の弥生時代^{やよい}に入ると、稲作は本州の北部まで広まりました。稲作を行うには、川をせきとめたり、用水をつくったりと、さまざまな工事が必要です。稲作の広まりとともに、日本列島の自然を開発することが始まったのです。とはいえ、^{やよい}①弥生時代から飛鳥時代^{あすか}にかけての耕地開発は、ゆるやかにすすめられていました。

奈良時代に入ると、人口増加によって口分田^{くぶんでん}が不足したため、^{だいきほ}②大規模な開墾計画^{かいこん}が立てられました。その後に出された法律では、開墾地を永久に私有することが認められたため、大きな寺社などが開墾をすすめていきました。平安時代の半ば以降^{いこう}は、地方の有力者たちによる耕地開発が行われ、開発された土地の多くは、中央の貴族や寺社に寄進されて、^{しやうえん}莊園^{おさ}となりました。莊園から納められた年貢^{ねんぐ}などが、^{せつかん}③摂関政治^{あすか}や院政をささえていたのです。

^{かまくら}④鎌倉時代には、西日本でが始められるなど、農業生産力が大きく向上し、武士や農民によって耕地の開発も行われました。そして、時代には、^{けいざいてき}経済的に力をつけた農民たちは次第に団結し、^{よりあい}寄合での話し合いをへて、用水や山林の管理を共同で行うようになりました。

^{えいど}⑤戦国時代、大名たちは治水やかんがいの工事に熱心に取り組みました。江戸時代に入っても、大規模な新田開発は続きました。^{えいど}⑥江戸時代中期の1720年ごろの耕地面積は、時代の中期とくらべると約3倍になり、人口も2倍あまりに増えたと考えられています。しかし、このころには耕地開発は限界に近づいていました。

^{めいじ}⑦明治時代になると、政府は近代国家の建設を急ぎ、開発の中心は道路や^{てつどう}⑧鉄道^{せいび}の整備、工場建設などに移っていきました。こうした開発が行われた結果、自然破壊が引き起こされ、有害物質による^{こうがい}⑨公害^{せい}が発生するなどの問題が生じました。しかし、それに対する反省がなされることはあまりなく、その後も開発はすすめられていきました。

さまざまな公害や環境問題が国民的に議論されるようになったのは、日本では、高度経済成長を経験した後のことです。開発を行う際に自然とのバランスを考えることは、現代でも^{わす}忘れてはならない視点であるといえるでしょう。

問1 ・にあてはまる時代の名をそれぞれ答えなさい。

問2 には、米をつくった後に麦を裏作^{うらさく}としてつくる栽培方法^{さいばい}があてはまります。この栽培方法の名を漢字で答えなさい。

問3 下線①について、次のできごとを古い順にならべかえて、記号で答えなさい。

- ア 奴国^{なこく}の王が後漢に使いを送った。
- イ 遣隋使^{けんずいし}として小野妹子^{おののいもこ}が隋にわたった。
- ウ 邪馬台国^{やまたいこく}の卑弥呼^{ひみこ}が魏に使いを送った。
- エ 百済^{くだら}から仏教が伝わった。

問4 下線②について、723年に出され、開墾^{かいこん}した人が土地を私有^{しりゆう}することを期限つきで認められた法を何といいますか。

問5 下線③について、摂関政治^{せつかんせいぎ}の全盛期^{ぜんせいき}をきずいた父子のうち、平等院鳳凰堂^{ほうおうどう}を建てた人物の名を答えなさい。

問6 下線④について、御家人^{ごけにん}は将軍^{しょうぐん}に領地を保護してもらうかわりに、将軍のために合戦に参加したり京都や鎌倉^{かまくら}の警護^{けいご}にあたりたりしました。この御家人の義務を何といいますか。

問7 下線⑤について、次の問いに答えなさい。

- 1 甲斐国^{かい}（現在の山梨県^{やまなしけん}）を本拠地^{ほんきょち}とし、甲府盆地^{こうふぼんち}を水害から守るために堤防をつくったことで知られる戦国大名の名を答えなさい。
- 2 戦国大名が治水やかんがいの工事に熱心に取り組んだ理由を、簡単^{かんたん}に説明しなさい。

問8 下線⑥について、このときの将軍^{しょうぐん}は徳川吉宗^{とくがわよしむね}でした。徳川吉宗が行ったこととして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 人々の意見を広く取り入れるため、目安箱を設置した。
- イ 物価を安定させるため、株仲間^{かぶなか}に解散を命じた。
- ウ 財政を安定させるため、上米^{あげまい}を行った。
- エ 裁判^{さいばん}の制度を整えるため、公事方御定書^{くしかたおさだめがき}を作成した。

問9 下線⑦について、明治時代に起きた日清戦争^{にっしん}の後、清との間で結ばれた条約の名を答えなさい。

問10 下線⑧について、日本で初めて開通した鉄道は、新橋とどこを結ぶものでしたか。

問11 下線⑨について、1901年まで衆議院議員^{しゅうぎいん}を務め、生涯^{しょうがい}をかけて足尾銅山^{あしお}の鉍毒問題に取り組んだ政治家の名を答えなさい。